

後部座席でも必ず着用しましょう!

シートベルトの 必要性



シートベルトを着用せずに交通事故にあった場合、
下記のような **3つのキケン** があります。

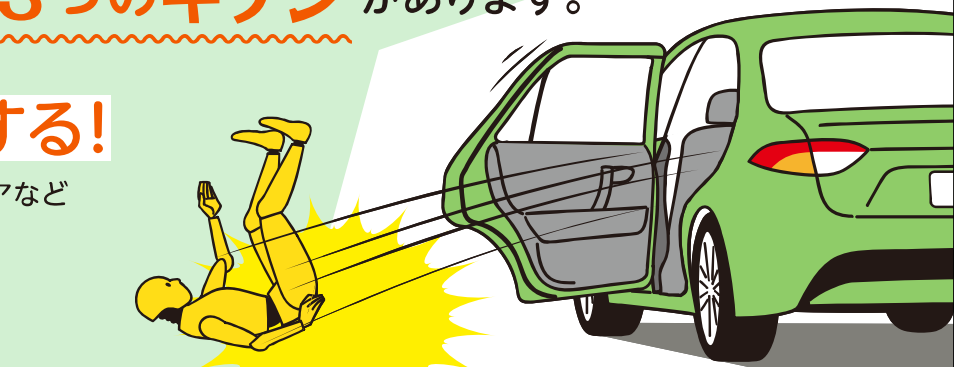
車内で全身を強打する!

交通事故の衝撃で、座席シートや天井、ドアなどにすさまじい力でたたきつけられます。



車外へ放り出される!

開いたドアや割れたガラス部分から、あるいはガラスを突き破って、車外に放り出されることがあります。



前席の人に大きなケガをさせる!

後席の人がシートベルトを着用していないと、前席シートに強烈に衝突し、シートごと前席の人を押しつぶしてしまう恐れがあります。



非着用が「過失」とされると



被害者なのに、 損害賠償額が減額される恐れ!

交通事故によるケガが、シートベルト非着用という被害者の過失によるものとみなされると、被害者であっても、十分な補償が受けられない場合があります。

シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会



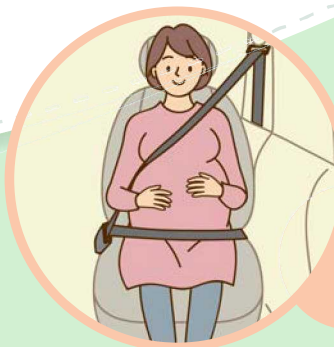
シートベルトの着用率、 後部座席は低い!

運転席、助手席のシートベルト着用率は100%近くになっていますが、後部座席の着用率は低く、一般道路では50%にも満たない現状です。

シートベルト着用率(高速道路等/一般道路別) (令和5年)

高速道路等 	運転席	99.6%
	助手席	98.6%
	後部座席	78.7%
一般道路 	運転席	99.2%
	助手席	97.1%
	後部座席	43.7%

※出典:「シートベルト着用状況全国調査(2023)」警察庁・日本自動車連盟

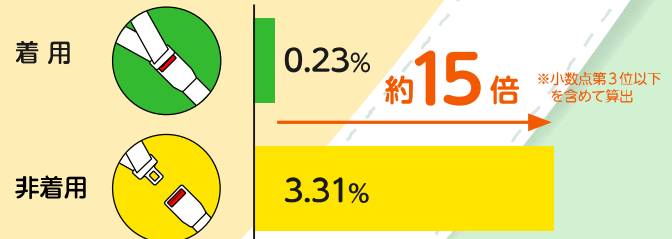


妊娠中の女性も適切にシートベルトを着用することで、母体や胎児の安全を守ることができます。医師とも相談して正しく着用しましょう。

シートベルト非着用時の 致死率は約15倍!

シートベルト非着用時の致死率(死傷者数に占める死者数の割合)は、着用時の約15倍も高くなっています。シートベルトを着用すれば、命が守られる可能性は高まります。

シートベルト使用別致死率比較 (令和5年)



※出典:「令和5年における交通事故の発生状況について」警察庁

シートベルトの正しい着用方法

- ✓ シートの位置、リクライニングの角度、ヘッドレストを調節する
- ✓ シートに深く腰掛け、正しい姿勢で座る
- ✓ 3点式ベルトの場合、肩ベルトは首にかからず、鎖骨に当たるように、また、たるまないように締める ※高さ調節が可能な場合は調整
- ✓ 腰ベルトは骨盤を巻くようにしっかり締める
- ✓ ベルトはねじれていないか確認する
- ✓ バックルの金具は「カチッ」と音がするまで確実に差し込む



シートベルト着用は、すべての座席で義務付けられています

運転者自身がシートベルトを着用するとともに、
助手席や後部座席の同乗者にも着用させなければなりません(道路交通法第71条の3)

シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会

<https://seatbelt-childseat.jp/>



こちらから動画が
ご覧いただけます!

